

特色ある学校づくりに係る資料（令和3年度）



79 県立羽茂高等学校

校長 小林 皇司

校章は、生徒一人ひとりが志を立てて勉学に励み、逞しく羽ばたく姿を表わしたものです。

I 校長として目指している学校像

生徒・保護者・地域の期待を踏まえ、生徒の自己実現を図る教育活動を実践します。

<学校運営方針>

- ・充実した学校生活の実現に向け、安心・安全な環境づくりに努める。
- ・地域連携やICTの活用等により、生徒の探究心や学ぶ意欲を高め、確かな学力が身につけられるよう、生徒一人一人の個性に応じた教育を推進する。
- ・地域の特性や豊かな教育資源を活かした取組を推進し、郷土愛や国際感覚を育み、生徒の自己実現、進路実現をめざす。
- ・学校行事や部活動等をとおして、高い目標に向けて挑戦する心、他者と協力する姿勢や自主性・自発性など豊かな人間性を育む。

積極的に情報発信し、地域に愛され、地域とともに歩む学校づくりを行います。

II 育てたい力

地域と連携した取組や、学校設定科目・「総合的な探究の時間」等の探究活動をとおして「答えのない課題」に取り組み、次のような力を育てます。

- ① 一人一人の個性や能力を伸ばし、未来を切り拓くための学力
- ② 地域振興の心を持ったグローバル人材となるための国際感覚と語学力
- ③ 地域や仲間と協力し、自ら課題を発見する力や課題解決案を考える力

佐渡（ふるさと）を島内外から支え、地域の未来を担う人材を育てます。

III 学校の目標を実現するために必要な教師像

教育は情熱が必要です。羽茂高等学校の学校づくりにおいて、生徒、保護者や地域にその思いをしっかりと伝えるため、次のような教師を求めています。

- ① 自己実現、進路実現に向け、自ら夢を語り、生徒に希望を持たせられる教師
- ② 学校運営に向け、広い視野を持ち、進んで企画し、主体的に行動できる教師
- ③ 教科指導に向け、知識と探究心を持ち、生徒の向上心に火をつけられる教師
- ④ 生徒指導に向け、発達段階の多様な状況を把握し、教え導く事のできる教師

IV 保護者の皆様へ ～家庭との連携を目指す教育活動～

高校3年間で、生徒は大きく成長します。その成長を将来に向けて確かなものにするためには、学校と家庭がそれぞれの役割を果たすことが重要です。

保護者の皆様には、特に次の3点について、ご協力をお願いします。

- ① 充実した高校生活を過ごせるように、規則正しい生活習慣の確立
- ② 将来の生き方や進路を日頃から話し合い、早期の進路目標の確立
- ③ 進路希望達成に必要な学力向上のため、家庭での学習習慣の確立